

鳴門市地域・新設統合高等学校体育科（仮称）の設置について

1. 体育科の位置づけ

- (1) 体育科は、知徳体の調和のとれた豊かな人間性を身につけるとともに、本県の競技力向上、スポーツ振興を図るため、スポーツや健康に関する専門教育を展開する。
- (2) 体育科の授業の中に、競技種目を特定した専攻実技を設定することにより、国体、高校総体で活躍を目指す競技の一翼を担う。
- (3) 県内高校のスポーツ振興の拠点校として、大学、県体育協会、各種競技団体等と連携し、講習会、スポーツ教室を開催する等、「とくしまスポーツ王国づくり」を推進する。

2. 体育科の概要

- (1) 募集定員 40名程度
- (2) 専攻実技種目（競技種目）

()は募集人員の目安

分野	スポーツⅠ (採点・測定競技)	スポーツⅡ (球技)	スポーツⅢ (武道)
専攻実技種目	陸上競技(男女8)	硬式野球(男9) バスケットボール(男5) サッカー(女11)	柔道(男女7)

○ 選定の視点

全県一区の体育科として、本県の競技力向上やスポーツ振興につながることを念頭に、次の視点を考慮した。

- ① 高等学校総合体育大会や国民体育大会等において、活躍が期待できる種目
- ② 大学等地域の教育力や鳴門・大塚スポーツパークの施設が活かせる種目
- ③ 地域のスポーツ活動の状況
- ④ 再編統合する鳴門第一高校と鳴門工業高校の部活動の実績

(3) 生徒募集

「特色選抜」で特例を設けることとし、募集割合を100%とする。

3. 体育科の特色

- (1) 『入試（特色選抜100%）、授業（専攻実技）、部活動の3つを連動』させることで、競技力の向上に重点を置き、トップアスリートや将来の指導者の育成を目指す。
- (2) 「運動生理学」や「フィジカル・メンタルトレーニング」等、スポーツを科学的に学ぶ体育科独自の科目を設けることで、より効果的な競技力の向上を図る。
- (3) スポーツの拠点校として、より専門性の高い教員を優先配置するとともに、大学等の外部講師を招聘し、高度な理論と実技の講義を実施する。
- (4) 進学や就職において、多様な進路に対応できるよう総合学科の科目履修を可能とする。
- (5) ケガ等により専攻実技に参加できなくなった場合には、生徒の意思を確認の上、他の分野を学ぶ機会を確保する。

- (例) ①専攻実技をサポートする学習 ②他の専攻実技種目への変更
③専攻実技の時間帯に総合学科の福祉系科目等の学習

4. 新高校のスポーツ指定校の取り扱い

体育科の専攻実技種目は、部活動のみならず、正課の授業において専門的に学ぶ競技種目であることから、専攻実技種目に係る部活動については、平成24年度よりスポーツ指定校として指定を受けないこととする。

5. 目指す進路

競技実績を活かした大学・短期大学等への進学や、体育科で身につけた礼儀、体力、活発さ等を活かした就職等、幅広い進路選択が可能であり、主に次のような進路を目指す。

